

指定管理者制度活用事業 評価シート(特別養護老人ホーム)

1. 基本事項

施設名称	川崎市特別養護老人ホームしゅくがわら	評価対象年度	平成25年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人鈴保福祉会 ・代表者名 理事長 鈴木 錠 ・住所 川崎市麻生区上麻生5-19-10	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

2. 事業実績

利用実績	<p>①特別養護老人ホーム事業(入所定員 68人) 在籍者数 66人(平成26年3月31日現在:入院等不在者を含む)</p> <table border="1"> <tr> <th>介護度</th> <th>要介護1</th> <th>要介護2</th> <th>要介護3</th> <th>要介護4</th> <th>要介護5</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>12</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>66</td> </tr> </table>	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	利用者数	6	8	12	20	20	0	66											
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計																				
	利用者数	6	8	12	20	20	0	66																				
	<p>②通所介護事業(通所定員 25人/日) 年間延べ利用者数 5180人:定員に対する稼働率 82.2 %</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>525</td> <td>531</td> <td>435</td> <td>502</td> <td>412</td> <td>383</td> </tr> <tr> <th></th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>416</td> <td>416</td> <td>408</td> <td>404</td> <td>361</td> <td>387</td> </tr> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	延べ利用者数	525	531	435	502	412	383		10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数	416	416	408	404	361
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																						
延べ利用者数	525	531	435	502	412	383																						
	10月	11月	12月	1月	2月	3月																						
延べ利用者数	416	416	408	404	361	387																						
<p>③短期入所事業(空床利用のみ) 年間延べ利用者数 34人</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <th></th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	延べ利用者数	6	0	0	0	0	0		10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数	15	13	0	0	0	0
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																						
延べ利用者数	6	0	0	0	0	0																						
	10月	11月	12月	1月	2月	3月																						
延べ利用者数	15	13	0	0	0	0																						
収支実績	<p>④居宅介護支援事業 給付管理者数(平成25年3月分)</p> <table border="1"> <tr> <th>介護度</th> <th>要介護1</th> <th>要介護2</th> <th>要介護3</th> <th>要介護4</th> <th>要介護5</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>管理者数</td> <td>31</td> <td>13</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>60</td> </tr> </table>	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	管理者数	31	13	10	6	0	0	60											
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計																				
	管理者数	31	13	10	6	0	0	60																				
	<p>①特別養護老人ホーム事業(短期入所含む) (収入)</p> <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>224,555,718</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>44,001,040</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>3,514,983</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>272,071,741</td> </tr> </table> <p>(支出)</p> <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>169,567,924</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>43,160,541</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>40,434,071</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>253,162,536</td> </tr> </table> <p>(収支差額) 18,909,205</p>	介護料収入	224,555,718	利用者等利用料収入	44,001,040	その他の事業収入	3,514,983	合計	272,071,741	人件費	169,567,924	事業費	43,160,541	事務費	40,434,071	合計	253,162,536											
介護料収入	224,555,718																											
利用者等利用料収入	44,001,040																											
その他の事業収入	3,514,983																											
合計	272,071,741																											
人件費	169,567,924																											
事業費	43,160,541																											
事務費	40,434,071																											
合計	253,162,536																											
<p>②通所介護事業 (収入)</p> <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>40,533,249</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>3,905,700</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>527,051</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>44,966,000</td> </tr> </table> <p>(支出)</p> <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>24,331,211</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>9,122,105</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>8,466,808</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>41,920,124</td> </tr> </table> <p>(収支差額) 3,045,876</p>	介護料収入	40,533,249	利用者等利用料収入	3,905,700	その他の事業収入	527,051	合計	44,966,000	人件費	24,331,211	事業費	9,122,105	事務費	8,466,808	合計	41,920,124												
介護料収入	40,533,249																											
利用者等利用料収入	3,905,700																											
その他の事業収入	527,051																											
合計	44,966,000																											
人件費	24,331,211																											
事業費	9,122,105																											
事務費	8,466,808																											
合計	41,920,124																											
<p>③居宅介護支援事業 (収入)</p> <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>6,588,552</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>885,068</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,473,620</td> </tr> </table> <p>(支出)</p> <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>8,759,228</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>287,527</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>636,819</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9,683,574</td> </tr> </table> <p>(収支差額) ▲ 2,209,954</p>	介護料収入	6,588,552	利用者等利用料収入	0	その他の事業収入	885,068	合計	7,473,620	人件費	8,759,228	事業費	287,527	事務費	636,819	合計	9,683,574												
介護料収入	6,588,552																											
利用者等利用料収入	0																											
その他の事業収入	885,068																											
合計	7,473,620																											
人件費	8,759,228																											
事業費	287,527																											
事務費	636,819																											
合計	9,683,574																											
<p>(収入)</p> <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>271,677,519</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>47,906,740</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>4,927,102</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>324,511,361</td> </tr> </table> <p>(支出)</p> <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>202,658,363</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>52,570,173</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>49,537,698</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>304,766,234</td> </tr> </table> <p>(収支差額) 19,745,127</p>	介護料収入	271,677,519	利用者等利用料収入	47,906,740	その他の事業収入	4,927,102	合計	324,511,361	人件費	202,658,363	事業費	52,570,173	事務費	49,537,698	合計	304,766,234												
介護料収入	271,677,519																											
利用者等利用料収入	47,906,740																											
その他の事業収入	4,927,102																											
合計	324,511,361																											
人件費	202,658,363																											
事業費	52,570,173																											
事務費	49,537,698																											
合計	304,766,234																											
サービス向上の取組	<p>特別養護老人ホームにおいて、利用者一人一人におけるその人らしい暮らしの実現に向けて、介護職員を3つのグループに分け、定例の会議を通じてテーマを追求していった。また、業務的になりがちだった入浴をケアとして見直すために、プライバシー確保用カーテンレールや滑り止めマットレスの新調や、音楽療法を実施している。また、接遇マナー向上委員会を開催し、職員の接遇の向上に努めている。</p> <p>通所介護事業において、送迎時に携帯電話を常時携帯し、送迎時間の急な変更等の情報連絡を家族及び施設に対して迅速に行えるようにして、利用者及び家族に迷惑をかけないようにしている。さらに、家族不在が分かった場合に、報告をして、対応について指示を仰ぐなど、運転手、添乗職員、及び施設内の職員との連携をスムーズに行っている。</p> <p>食事の提供において、バイキングや鍋週間を適時導入し、利用者自身で盛り付けを行うことにより、楽しみながら食欲増進を図るといった工夫をした結果、利用者からも好評を得ている。また、食前の口腔体操を実施し、誤嚥が減少するなどの成果があった。</p>																											

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
適正な業務実施	質の高いサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	10	4	8
		利用者等への情報提供等は十分に行われているか			
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか			
	健康管理	利用者の健康管理は適切に行われているか	10	4	8
感染症への対策は適切に行われているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>情報提供・発信について、ホームページ、施設掲示板、ロコミを通して、地域に募集を発信し、各種ボランティアの受入れを積極的に行っている。また、各事業の運営規程、職員配置、事業計画・報告及び収支予算書・決算書について、希望する者の閲覧に供するよう、常に受付カウンターに備え付けている。利用者家族とも、連絡帳に基づく連携に加えて、家族懇談会を開催し、施設や業務の内容及び年間の業務計画を説明する等、緊密な関係が築けている。</p> <p>健康管理については、特別養護老人ホームにおいて、管理栄養士による栄養ケアマネジメントを実施し、栄養リスク判定、アセスメント、モニタリングを通じて栄養状態を把握し、問題点を明らかにして栄養ケア計画を作成し、施設介護サービス計画書へ反映させて、低栄養の予防・栄養状態の改善に取り組んだ。また、通所介護事業所において、管理栄養士による栄養講座を実施し、高齢期における健康維持・増進に向けた食事改善の意識向上を図った。さらに、体調不良の利用者に対して、看護師及び介護職員にて、1日5～6回のバイタルチェックを実施し、体調変化の把握に努めている。</p> <p>感染症対策について、職員等に向けて定期的に最新の感染症情報の周知・啓発、感染症対策の研修を実施、感染予防に向けて生活区域内の掃除をこまめに行い、清潔で快適な環境整備に努めている。また、就業中の消毒スプレー携帯、手指消毒の徹底、マスクの早期着用、居市内加湿策、消毒用足ふきマットの設置の対策を講じた。これらの対策の結果、インフルエンザ・ノロウイルス等の重大な感染症は発生しなかった。</p>					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	4	4
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>利用率の向上に向けて、退所から入所までの期間短縮を図る年間の数値目標を設定し、目標達成を目指して入所判定会議をはじめ情報収集を的確に運用し、その効果もあって、平成24年度に比較して、特養入所部門の利用率が増加した。</p> <p>清掃、設備点検、警備が一体となった総合メンテナンス方式による同一のメンテナンス業者への業務委託を取りやめ、委託業者間による競争性を担保したり、食材確保について、委託業者を通さず、近隣市内業者を中心に直接取引し、安値で供給を可能とするなど、経費削減に努めている。その効果もあり、予算時よりも、大幅に支出額を削減している。</p> <p>会計手続について、税理士法人より経営管理指導・助言を受けるなど徹底した対応がなされており、預り金の鍵付金庫への保管や、経費支出において起案者(担当者)、担当者以外の事務担当者、事務長及び施設長の4者によるチェック体制の採用など、積極的な取組が行われている。</p>					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取り組みがなされているか	10	4	8
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	10	4	8
意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)					
利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>特別養護老人ホームにおいて、利用者一人一人におけるその人らしい暮らしの実現に向けて、介護職員を3つのグループに分け、定例の会議を通じてテーマを追求していった。また、業務的になりがちだった入浴をケアとして見直すために、プライバシー確保用カーテンレールや滑り止めマットレスを新調や、音楽療法を実施している。また、接遇マナー向上委員会を開催し、職員の接遇の向上に努めている。</p> <p>通所介護事業において、運営状況サービス提供の在り方及び利用者個々の評価を毎月行い、円滑な運営を図っている。発生した事故について、内容・程度を客観的にとらえられるようレベル1～5の区分けを行い、より重大なレベルの事故に発展させずに、予防を図っている。また、送迎時に携帯電話を常時携帯し、送迎時間の急な変更等の情報連絡を家族及び施設に対して迅速に行えるようにして、利用者及び家族に迷惑をかけないようにしている。さらに、家族不在が分かった場合に、報告をして、対応について指示を仰ぐなど、運転手、添乗職員、及び施設内の職員との連携をスムーズに行っている。</p> <p>食事の提供において、バイキングや鍋湯間を適時導入し、利用者自身で盛り付けを行うことにより、楽しみながら食欲増進を図るといった工夫をした結果、利用者からも好評を得ている。また、食前の口腔体操を実施し、誤嚥が減少するなどの成果があった。</p>					

組織管理体制	適正な管理体制の構築	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
		定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
		再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	10	4	8
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か			
		実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
		個人情報の管理は適切に行われているか			
	(評価の理由) 特別養護老人ホームにおいて、欠員が生じた際に、ハローワーク、福祉人材バンクや職業訓練校をはじめとする介護職養成機関等との緊密な連携を図るとともに、ホームページや掲示板等の広報媒体を活用するなどして補充を行っている。 職員の研修参加についても意欲的であり、特に特別養護老人ホームにおいて積極的な外部研修の参加を行っている。また、研修委員会を設け、職員向けに研修アンケートを実施し、現在施設が抱えている課題や興味がある研修について把握した。さらに、報告研修会を実施して、研修の成果や職員として知っておかなければならない情報の共有化を図っている。 防災や事故への対策として、各種委員会を設置し、予防対策の検討や避難訓練の実施を行っている。また、対策マニュアルや連絡リストの整備も十分に行っており、職員連絡網を数か月おきに点検し、災害発生時において、近隣居住職員を中心に招集する体制を整備する等、積極的な取組の実施が認められる。 個人情報対策において、電子データの取扱いについて、パソコンのパスワード管理、USBの使用制限と外部持ち出し禁止、インターネットを介さない施設ネットワークの構築、サーバーに対するアクセス権の設定(システム管理者のみ操作できる仕組み)、個人情報が入ったパソコンの持ち出し禁止、といった広範な対策が取られている。				
適正な施設管理	施設・設備の保守管理、清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	10	3	6
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
		設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
	(評価の理由) 委託業者間での競争性を担保し、清掃、設備点検、警備の一体的メンテナンスを実施するなど効率的な施設管理が行われている。 施設整備の保守点検や整備等について、特段の配慮をしている。				

4. 総合評価

評価点合計	75	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

施設整備の保守点検や整備等、食事の提供、管理栄養士が中心となった栄養ケアマネジメントの実施について特に入念に行っており、適切な業務運営に対する積極的な姿勢が感じられる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

指導事項等なし。